4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版N

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日づけ：＿＿＿＿＿＿＿＿

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 1923年9月1日に起き、東京や横浜で大きな火事の被害が出た、地震による災害を何というか

(2) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか

(3) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか

(4) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか

(5) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか

(6) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか

(7) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか

(8) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか

(9) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか

(10) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか

(11) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか

(12) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか

(13) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか

(14) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の活動をする組織を何というか

(15) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか

(16) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか

(17) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか

(18) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか

(19) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか

(20) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか